

信楽高原鐵道株式会社の経営再生にかかる進捗状況等について

1 鉄道事業再構築実施計画

○H25.3.4 国土交通大臣が鉄道事業再構築実施計画を認定

【鉄道事業再構築実施計画】

申請者	甲賀市、信楽高原鐵道、滋賀県
計画内容	① 事業構造の転換(甲賀市:鉄道施設を保有し施設維持管理費用を負担、信楽高原鐵道:列車を運行)【上下分離方式】 ② 地域による利用促進策の実施
実施期間	平成25年度から令和4年度までの10年間
実施効果	① 信楽高原鐵道における鉄道施設等の維持管理費用の負担軽減 ② 地域と連携した積極的な増収施策等の展開による、収支均衡と安全で安定した運行の維持

○H25.4.1 **公有民営方式**の**上下分離**による**運行開始**

2 旅客輸送実績

() 内は1日当たり換算

	令和元年度(2019)	令和2年度(2020)	前年度比
通学定期	228,240人 (623人)	177,660人 (486人)	△50,580人 (△137人)
通勤定期	55,860人 (152人)	47,160人 (129人)	△8,700人 (△23人)
定期外	153,488人 (419人)	89,330人 (244人)	△64,158人 (△175人)
合計	437,588人 (1,194人)	314,150人 (860人)	△123,438人 (△334人)

※ 新型コロナウイルスの影響等により、定期、定期外ともに大幅に減少

3 経営状況

(千円)

	令和元年度(2019)	令和2年度(2020)	前年度比
経常収入	170,201	144,852	△25,349
うち旅客収入	94,978	64,649	△30,329
経常費用	168,053	155,257	△12,796
経常利益	2,148	△10,406	△12,554

※ 上下分離方式への移行後、初めて当期純損失を計上。

4 令和2年度の主な取組

○安全な輸送サービスの提供

【甲賀市】 車両検査の実施、枕木交換、橋りょう塗装
軌道改良、放送案内設備の更新

【信楽高原鐵道】 旅客輸送業務
鐵道施設等の保守・維持管理業務

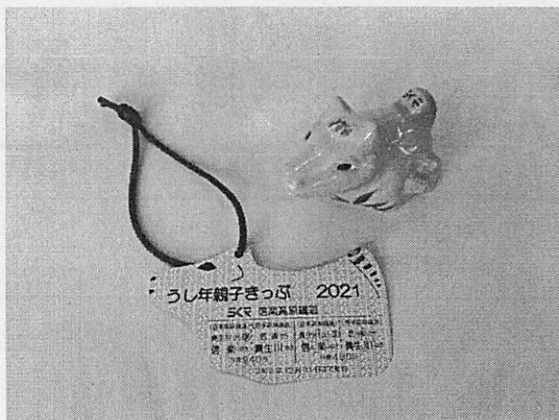
○経営改善・合理化の推進

【甲賀市】 鐵道事業再構築実施計画に基づく着実な実施

【信楽高原鐵道】 営業費の経費節減

○鐵道の利用促進

【信楽高原鐵道】 甲賀市「スカーレットプロジェクト推進事業」と連携した観光誘客
滋賀県立陶芸の森「リサ・ラーソン展」と連携した観光誘客
「リサ・ラーソン展」ラッピング列車の運行（501号車）
甲賀忍者をテーマにしたラッピング列車の運行（311号車・312号車）
信楽高原鐵道利用促進協議会との連携による「陶製干支切符」の販売
近江鐵道との連携による「びわこ京阪奈線フリーきっぷ」の販売



【陶製干支切符】



【「リサ・ラーソン展」ラッピング列車】

5 令和3年度の主な取組

【甲賀市】 車両検査、枕木交換、軌道改良、橋りょう塗装、落石等防護設備の更新

【信楽高原鐵道】 旅客輸送業務、鐵道施設等の保守・維持管理業務
鐵道の利用促進

- ・ 「信楽まちなか芸術祭」と連携した観光誘客
- ・ 「スカーレット」をテーマとした記念館の運営・連携と観光誘客
- ・ 観光客向けのノベルティやグッズ開発
- ・ 忍者列車の運行、県内輸送機関と連携した周遊券の販売
- ・ JR西日本、観光協会等と連携したハイキングコースの実施